



独立行政法人 労働者健康安全機構

東京産業保健総合支援センター研修案内(令和8年9月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

### ◆日医認定産業医研修◆

- ※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。
- ◆注意◆
- ・お1人様、月1回のみの受講となります。
  - ・令和7年4月以降の認定産業医研修会をお申し込みされる産業医の方は医師会会員情報システム(MAMIS(マミス))の登録が必須となります。
  - ・令和7年4月以降の単位付与はMAMISにより行います。単位シールの現物配付は禁止となります。
  - ・MAMIS対応のため、ホームページの利用者登録に新たに「生年月日(西暦)」「性別」「医籍登録番号」が必要となりましたので、御登録をお願いします。

### ●認定産業医研修の申込受付開始は、すべて8月3日(月)10時～です。

| 研修日時                    | 研修テーマ                                                                                                                                                                                                                                                           | 講 師                                      | 単 位    | 定 員 |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|--------|-----|
| 9月1日(火)<br>14:00～16:00  | 事例検討に学ぶ海外勤務者の健康管理<br>各種産業分野の国際化に伴い、海外勤務者の数が増加している。特に近年は、海外出張を繰り返す形で海外事業を運営する企業が増加しており、海外出張者の健康管理の重要性が高まっている。今回の研修では、海外駐在者および海外出張者の事例を提示し、その事例の健康管理方法についてグループワークを行いながら、海外勤務者への適切な健康対応を学んでいく。                                                                     | 濱田 篤郎                                    | 生涯・実地2 | 36  |
| 9月3日(木)<br>13:30～16:30  | 作業環境測定方法<br>本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。                                                                                                                    | 小嶋 純                                     | 生涯・実地3 | 16  |
| 9月8日(火)<br>14:00～16:00  | 働く女性の健康管理<br>男女雇用機会均等法の施行以来、女性のライフスタイルの変化から、女性労働者を取り巻く環境の変化について振り返りたいと思います。ライフコースに沿った女性の健康管理のポイントを整理し、育児休業法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法など女性の就労環境を改善する法律についても解説します。                                                                                                     | 小島原 典子                                   | 生涯・更新2 | 55  |
| 9月15日(火)<br>14:00～16:00 | 安全衛生法令の改正動向<br>個人事業者に対する安全衛生法令の適用や新しい化学物質管理制度など大きな改正が続いています。昨年5月の国会で改正労働安全衛生法の改正法が公布されました。本改正では個人事業者に安全衛生対策の推進、ストレスチェック適用拡大、化学物質による健康障害防止対策等の推進などが行われ、今後順次施行される予定です。今回はここ数年の改正動向を含め、今後の安全衛生法の動向について考えてみたいと思います。                                                 | 中山 篤                                     | 生涯・更新2 | 55  |
| 9月18日(金)<br>14:00～16:00 | 産業医のためのアクティブラーニングを活用した健康教育の技術<br>産業医が行う教育の1つの特徴に「受講者は必ずしも学習意欲があるとは限らない」というものがあります。その受講者に行動変容を求めるには、単に医学知識が旺盛なだけではなく、教育技術も期待されます。本講では、教育設計学(Instructional Design)の知見を用い、ご自身が実際に行う研修の設計書を作成いただきます。作成された設計書は、明日からの産業医活動にそのまま活かしていただけます。                            | 産業医科大学産業医実務研修センター副センター長<br>教育教授<br>柴田 喜幸 | 生涯・実地2 | 50  |
| 9月24日(木)<br>14:00～16:00 | 事例検討 医師面接から意見書の作成まで<br>産業保健活動の現場では、産業医が従業員や人事・管理職の方々と面接を行い、その内容を踏まえて意見書を作成・提出することが求められる場面が少なくありません。本研修では、健康診断後の事後措置、ストレスチェック対応、復職支援などにおいて、産業医としてどのように面接を行い、意見書作成・提出に至るのか、その一連の流れを整理します。あわせて、実際の事例を用いながら、対応時の重要なポイントや留意点について解説します。                               | 内田 和彦                                    | 生涯・実地2 | 50  |
| 9月28日(月)<br>14:00～16:00 | 小売業・飲食店の労働災害防止／改正安衛法に基づく新しい高齢者対策<br>小売業、飲食店の労働災害は未だ増加傾向にあり、わが国の労働災害防止推進上の大きな課題です。本研修では、小売業、飲食店の労働災害を防止するため、職場巡視等に役立つ業態別の労働災害の特徴、労働災害を防止させた企業の労働災害防止対策の具体的な取り組み好事例などを紹介するとともに、令和8年4月、改正安衛法の施行に伴い高齢者対策が事業者に努力義務化されましたが、厚労省が公示した高齢者対策指針に基づき対策をどのように進めていけばよいか解説します。 | 東京都市大学客員教授<br>高木 元也                      | 生涯・専門2 | 55  |

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて**8月3日(月)10時～**です。

＜web研修＞ ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください◆**

| 研修日時                       | 研修テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 講 師                  | 定 員 |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----|
| 9月2日(水)<br><br>14:00～16:00 | 【web研修会】<br>事例から学ぶ産業保健スタッフが知っておきたい職場のメンタルヘルス対策の秘訣<br>⑦<br>～小規模事業場ストレスチェック実施マニュアル編～<br>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。<br>講師がこれまで実際に見聞きしてきた職場のメンタルヘルス対策・ストレスチェック制度の失敗事例、成功事例を中心に、困難を乗り越えてうまく軌道にのせていくための秘訣をお伝えします。<br>今回は、2月25日に公開された「小規模事業場ストレスチェック実施マニュアル」の内容に沿って、労働者50人未満の事業場でのストレスチェック実施の準備、実施、高ストレス者への医師の面談指導などにおけるポイントや留意点などについて、事例とともに分かりやすく解説いたします。<br>本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。<br>※前回5月15日の研修内容とほぼ同じです。前回聴講できなかった方を優先に講義いたします。 | 「こころの耳」事務局長<br>石見 忠士 | 70  |

＜会場研修＞

| 研修日時                        | 研修テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 講 師                                        | 定 員 |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-----|
| 9月4日(金)<br><br>14:00～16:00  | セルフケア支援にまつわるエトセトラ<br>～実践とセルフケア支援のツボとコツとを結ぶ～<br>セルフケアやセルフケア支援について、普段なにげなく言っていること、行っていることはどういったことなのか、どのようにしていくのが良いのか等を、あらためてふりかえり考えていきます。<br>両立支援におけるかかわり方にも通じる内容となっております。                                                                                                                                                                                                                                                              | 松島 尚子                                      | 25  |
| 9月7日(月)<br><br>14:00～16:00  | 労働安全衛生法の基礎(後半)<br>法令に基づき事業場において安全衛生管理を適正に行うため、法令の読み方、法令用語、留意事項等、主に労働衛生分野について、8月と9月の2回に分けて学びます。<br>前半(8月5日)は法令の読み方など基礎的な事項について、後半(9月7日)は前半のおさらい、健康診断等の主要事項の法令、最近の法令改正の概要などを学びます。<br>前半・後半の両方受講が必須ではなく、いずれか一方のみの受講でも構いません。<br>なお、「令和7年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。                                                                                                                                                    | 西村 知行                                      | 55  |
| 9月9日(水)<br><br>14:00～16:00  | 「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家につなぐ方法～<br>社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者に関わることになります。<br>そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勧奨スキルも重要となります。<br>個人情報とのやりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。<br>本研修では、社員を円滑に専門家につなげるための方法について解説を行います。                                                                                                                                                                | (株)ジャパンEAPシステムズ<br>臨床心理士 松本 桂樹             | 55  |
| 9月16日(水)<br><br>14:00～16:00 | 元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動～対応事例～<br>大手印刷会社で20年以上メンタルヘルス対策に携わった経験を基に、元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動の一例を紹介いたします。そして、メンタルヘルス活動に携わっている担当者にとってメンタル不調者の休職中の対応から復職支援について、対応事例によるグループワークから対応方法を共有していただきます。<br>また、ストレスによる腰痛、頭痛を予防する簡単にできる運動方法(骨ストレッチ)も紹介します。                                                                                                                                                                                               | 中災防安全衛生エキスパート<br>スポーツケア整体研究所(株)<br>小沼 博子   | 55  |
| 9月25日(金)<br><br>14:00～16:00 | ストレスチェック制度のいま、活かすための対策は・・・<br>～50人未満事業場と50人以上の事業場におけるストレスチェックの実施は～<br>ストレスチェック制度が開始されてから10年。ほぼ同じ項目を実施していると思われそうですが、どんな変化が、こころの健康の可視化はできていますでしょうか。<br>50人以上の事業場は義務だから、毎年実施して報告されていることでしょう。受検者数の変化はありませんか。ストレスの気づきをもつてのセルフケア、集団分析を実施しての職場環境改善の実現、いかにがでしょうか。その効果に関しての意見はいろいろありますが、本当に活かすために、実りある制度、意味ある施策にするためには何が必要、どうあればいいのか一緒に考えてみませんか。ご意見などお気軽にお聞かせください。ご参加をお待ちしております。<br><br>※当研修の前14:00～14:15の時間帯に、動画視聴による「勤務間インターバル制度に係る研修」を行います。 | 労働者健康安全機構産業保健<br>アドバイザー<br>公認心理師<br>菅野 由喜子 | 55  |
| 9月30日(水)<br><br>14:00～16:00 | 高齢者の安全衛生対策の進め方～努力義務化とフレイル、ロコモ～<br>休業4日以上死傷者数のうち50歳以上の高齢者が半数以上を占めており、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。また、筋力等の低下に伴う転倒等の労働災害を防止するため、フレイル、ロコモーションシンドローム(ロコモ)予防を意識した健康づくり活動が重要視されてきています。<br>厚生労働省は、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」を公表していましたが、令和7年5月の労働安全衛生法改正により、高齢者の安全衛生対策は事業者の努力義務とされ(令和8年4月施行)、ガイドラインの内容は同法に基づく指針とされることになりました。<br>これらの要点と留意事項を説明します。                                                                                             | 荒川 輝雄                                      | 55  |